

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	1.新たな価値を創出する産業づくり
施 策	(1)ものづくり・しくみづくりの強化

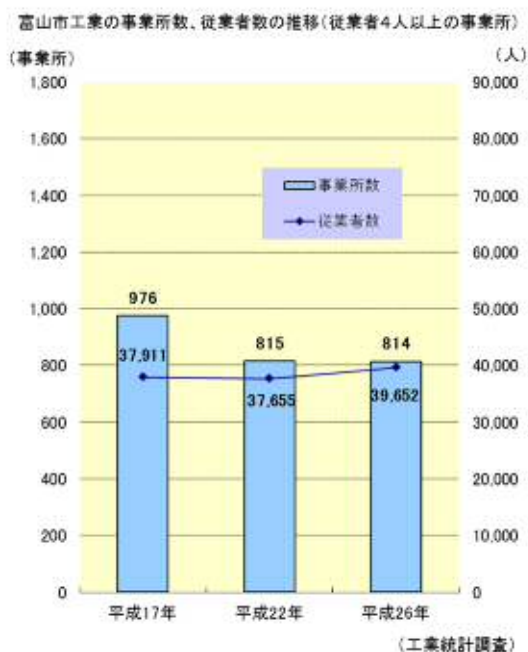
■現状と課題

本市の工業は、豊富な電力、水資源と勤勉な労働力を背景としながら、医薬品をはじめ一般機械、電子部品などの製造業を中心に、その優れた技術と事業所の集積により日本海側有数の工業都市として発展してきました。

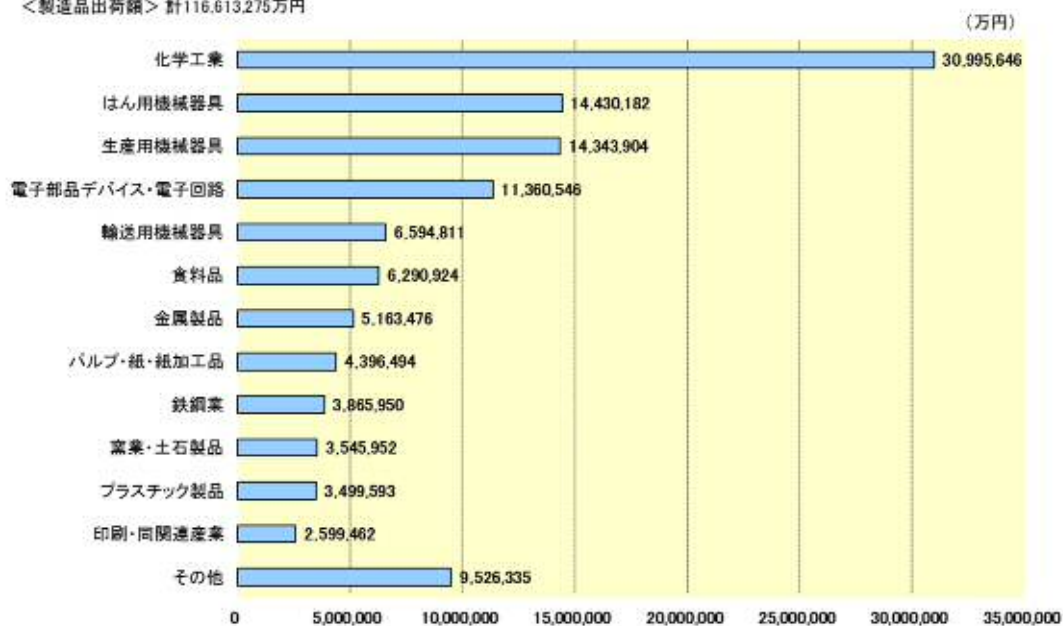
近年は、産業構造や経済環境が激しく変化する中、北陸新幹線の開業により首都圏との時間的距離が大幅に短縮されたことは、産業界にとって大きく飛躍する絶好の機会であり、設備の高度化や優れた人材の育成・確保などによる経営基盤の強化や、独創的な新技術・新商品の開発等による経営革新など、新産業・新事業のさらなる育成に取り組んでいく必要があります。

地域の顔である商店街については、郊外型大型店との競合やインターネット販売の拡大、後継者不足など、厳しい環境にあります。大きく変わりつつある都市構造も踏まえ、商業者自らの意識改革を進め、魅力ある商業空間をどのように創出し、賑わいを取り戻していくかが課題となっています。

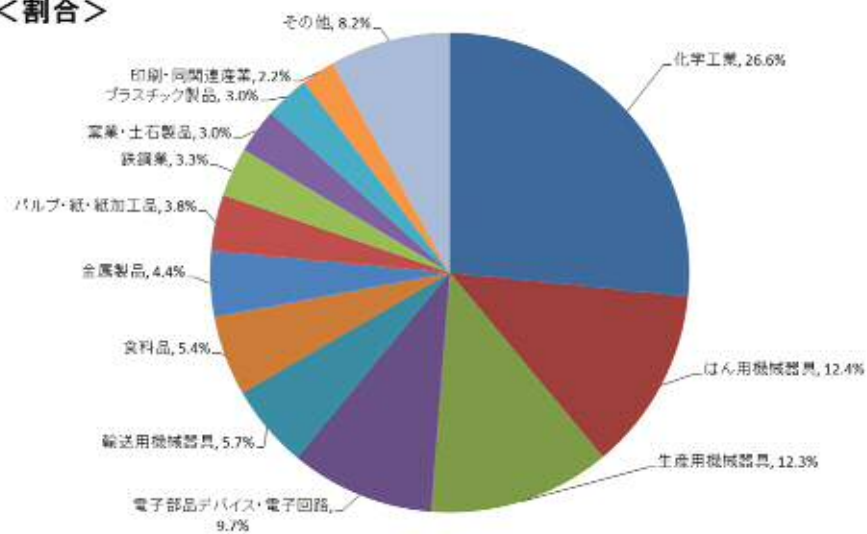
さらに、少子高齢化が進行する中で、今後、人手不足がより深刻化することから、ICTやIoTなどの技術を積極的に導入し、労働生産性の向上に努めるとともに、高齢者や女性など多様な人材の活躍の機会を提供することで、付加価値の高い産業の振興を図ることが求められています。



平成26年産業中分類製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)
 <製造品出荷額> 計116,613,275万円



<割合>



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
中心商業地区の歩行者数 (再掲Ⅱ-2-(1))	中心商店街(西町・総曲輪・中央通り)の歩行者数	第3期富山市中心市街地活性化基本計画に掲げる目標数値の達成を目指す。	日曜●●人 (27年度)	日曜●●人
製造品出荷額等	工業統計における従業	産業の振興を図り、年平	11,662億円	13,488億円

	者4人以上の事業所の年間製造品出荷額等	均2.2%程度の増を目指す。	(26年)	
事業所の新規開業率	経済センサスにおける新規開業率(全産業)	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	1.5% (24年度)	3.0%
新規事業所開設による雇用者数	経済センサスにおける新設事業所の年平均就業者数(全産業)	新規事業所の開設を推進し、約20%の増加を目指す。	1,896人 (21～24年の平均)	2,300人

■施策の方向

①商工業等の振興

北陸新幹線開業や中心市街地における市街地再開発事業の進捗、また数年後に完成する予定の路面電車の南北接続事業など、大きく変わりつつある都市構造を踏まえ、今後の本市の商業振興策の指針となる商業振興活性化プランを改訂し、経済団体、商業者、商店街団体、行政等が一体となった地域経済の活性化に努めます。

また、社会・経済情勢が目まぐるしく変化する中、工業都市として製造業中心の本市の産業基盤をさらに発展させ、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、今後の本市の工業振興施策の指針となる工業振興ビジョンを改訂し、同ビジョンに基づき総合的な施策の推進に努め、地域経済の持続的な成長を目指します。

さらに、ICT(情報通信技術)やIoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、産業用ロボットや介護ロボット等のイノベーション技術の導入を支援し、製造業や介護分野、農業分野等において労働生産性の向上を目指します。

また、市場の変化を敏感に捉え、新たなビジネスモデルの創造を目指すチャレンジ精神にあふれる企業が、新たな価値、商品、サービスを創出する未来志向型産業の育成支援に努めます。

②中小企業の経営基盤の安定・強化への支援

中小企業の経営基盤の安定・強化においては、金融・経営の両面にわたる対策が必要であることから、景気動向や中小企業者のニーズを的確に捉えながら、中小企業向け融資制度や経済団体など関係機関との連携により、経営指導・経営相談の充実や有益な情報の収集・提供に努めます。

③商店街の活性化

・中心商店街の活性化

中心市街地活性化の鍵となる中心商店街は、きめ細かな顧客サービスや、時代に合った選び抜かれた商品の販売などにより、顧客の心を引き付ける商業空間を創造することが求められていることから、やる気のある商店街や商業者が行う取り組みに対し、支援します。

また、TOYAMA キラリやユウタウン総曲輪、森記念秋水美術館など、人をまちなかへと吸引する力のある施設が相次いで誕生したことから、相乗効果により、中心商店街等での回遊性向上や来街者の滞留時間の延長につながるよう努めます。

・**地域商店街の活性化**

地域商店街は、「地域コミュニティの担い手」として地域住民の豊かな生活にとって重要な役割を担っていることから、活性化が図られるよう、地域の特性を活かした個性ある取り組みに対し、支援します。

④**コミュニティビジネスへの支援**

地域のさまざまな社会的課題の解決のために NPO や商業者団体、意欲ある農業生産法人などが行うコミュニティビジネスの支援に努めます。

■**市民に期待する役割**

- * 地域の商店街で商品の積極的な購入に努める。
- * 商店街の各店舗は、地域社会の中心として地域貢献に努め、魅力ある商業空間の形成に努める。

■**総合計画事業概要**

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
商業振興活性化プラン改訂事業	現プランに基づく商業者への支援	プラン改訂
工業振興ビジョン改訂事業	現行ビジョンの第二次改訂(26 年度)	ビジョン改訂

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	1.新たな価値を創出する産業づくり
施 策	(2) 企業の誘致・拠点化支援

■現状と課題

東日本大震災を契機に、多くの企業が事業継続計画を導入し、リスク分散の観点から地方都市に進出する動きがある中、本市は、北陸新幹線など高速交通網が整備されていることに加え、豊富な水資源や暮らしやすさ、勤勉な土地柄であることなど県外企業にとって魅力ある地域といえます。

このことから、需要に見合う企業用地等の確保のため、新たな企業団地の整備などに取り組んでいく必要があります。

また、進出企業を含めた既存企業に対する支援を強化し、「面倒見のよい市」を目指したサービス体制の充実が重要となっています。

企業団地・卸商業団地一覧

(平成28年4月1日現在)

団地名	設立	所在地	面積(㎡)	企業数
富山機械工業センター(協)	S35	新庄本町、向新庄町	119,572	20
(協)富山問屋センター	S37	問屋町	207,609	40
富山市第二機械工業センター(協)	S42	古寺、流杉	65,535	12
富山市第三機械工業センター(協)	S44	水橋伊勢屋	108,330	6
富山企業団地(協)	S48	水橋金尾新	295,278	30
(協)富山トラック輸送センター	S52	上野	24,844	21
富山流通団地(協)	S55	八日町	43,844	18
(協)とやまオムニパーク	S60	南央町	130,555	21
富山市四方チャレンジ・ミニ企業団地	H2	今市	9,657	11
四方テクニカルパーク	H3	四方荒屋	58,886	27
草島工業団地	H6	草島	78,825	13
水橋ハイサイトパーク	H6	水橋肘崎、水橋市田袋	138,960	10
上条工業団地	H7	水橋石割、水橋田伏、水橋北馬場	135,446	6
金屋企業団地	H11	金屋	254,464	29
呉羽南部企業団地	H23	境野新、北押川、池多、平岡	260,198	19
熊野北部企業団地	H23	小中	39,597	2
大沢野機械工業センター(協)	S35	高内	95,300	6
中大久保企業団地	H7	中大久保	217,625	18
大沢野西部企業団地	H21	西塩野、加納	23,980	1
八尾機械工業センター(協)	S35	八尾町福島	33,275	5
富山八尾中核工業団地	S60	八尾町保内	1,937,314	31
婦中機械工業センター(協)	S45	婦中町千里	140,219	5
婦中鉄工業団地(協)	S45	婦中町菰島	90,812	11
宮野工業団地(協)	S50	婦中町下井沢、広田	176,000	7
婦中町臨空工業団地	S60	婦中町増田、板倉、添島	375,000	10
婦中企業団地(第1期)	H元	婦中町中名、道場	62,840	16
婦中企業団地(第2期)	H5	婦中町道場、下井沢	252,458	12
富山イノベーションパーク	H10	婦中町島本郷	191,901	13
西本郷企業団地	H23	婦中町西本郷	79,724	14

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
企業団地の入居率	市で新たに造成する企業団地の入居率	新たに造成を予定する企業団地の入居率 100%を目指す。	—	100% (仮)

■施策の方向

①企業立地の促進

雇用機会の拡大と地域経済の活性化を図るため、北陸新幹線の開業効果や都市の総合力など本市の強みを前面に出しながら、先端技術企業や研究開発型企业等の誘致に努めるとともに、進出企業への立地支援の強化に取り組みます。

また、既存企業が引き続き地元に着し続けるよう、アフターフォローの充実など、サービス支援体制の強化に努めます。

一方、新たな企業団地の整備富山西インターチェンジ周辺地区の市街化区域への編入に伴い、呉羽南部企業団地の早期の拡張整備に取り組むとともに、民間が有する遊休地及び空き工場・事務所の活用を図るなど、企業の投資意欲をそぐことのないよう、需要に見合う企業用地等の確保に努めます。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
企業団地造成事業	企業団地等の造成	新たな企業団地の造成

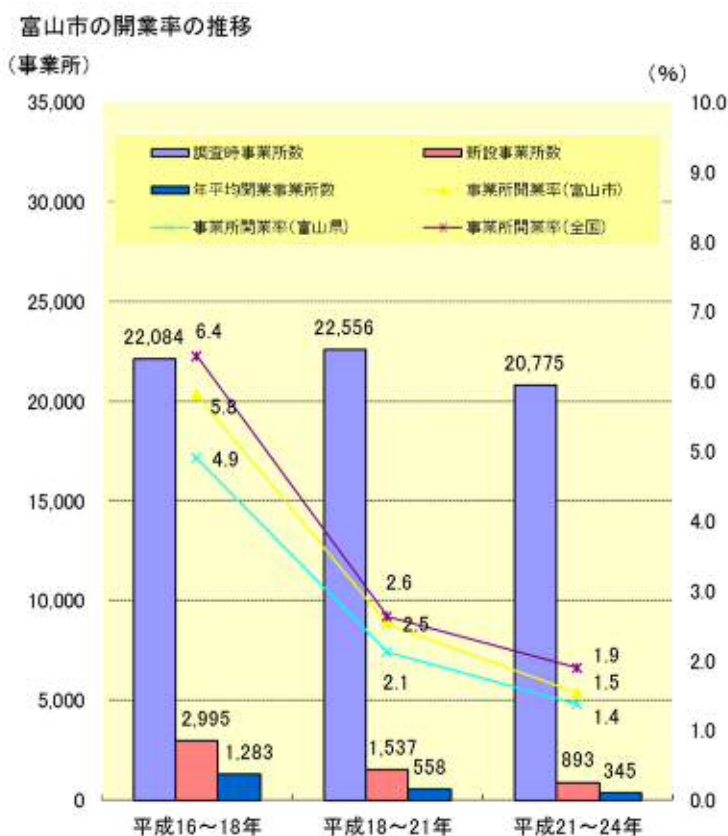
基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	1.新たな価値を創出する産業づくり
施 策	(3) 新産業・新事業の創出

■現状と課題

本市は、医薬品や一般機械、電子部品などの製造業を中心とした産業集積を背景に技術や人材が豊富であり、さらに、大学や産業支援機関が集積し、研究成果のビジネス化が期待されるなど、新産業の育成に適した基盤を有しています。

このような中、新産業支援センターを拠点として、産学官連携により大学等の優れた研究成果の事業化を支援するなど、創業者やベンチャー企業などの育成に取り組んだ結果、当施設をステップにして成長を遂げた事業者もあり、一定の成果が出ています。

一方、限られた経営資源の中、新しい技術の導入や新分野への進出に踏み切れないなどの状況も見受けられ、新たな研究開発や事業展開に挑む企業への支援など、新しい価値を生み出す事業の創出に向けた取り組みが重要となっています。



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
創業支援施設卒業企業数	本市の3箇所の創業者支援施設の卒業企業数	入居企業への支援を強化することにより、独立	6社 (25～27年度)	5社

	(施設の退去時点において事業を継続する者)	開業数の増加を目指す。	平均)	
--	-----------------------	-------------	-----	--

■施策の方向

①新たな産業の育成

レンタルラボなどを備えた新産業支援センターにおいて、大学や産業支援機関などの関係機関と連携しながら、製品開発等の共同研究や技術相談体制を充実させ、医薬バイオ・ナノテク・IT・環境など成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

このセンターを拠点として、四方チャレンジ・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスと連携を図りながら、高度なものづくりや新産業・新事業の育成に努めます。

さらに、融資制度や公的支援の充実を図るとともに、技術や製品の販路開拓についても支援します。

また、高い芸術性を兼ね備えた「富山ガラス」の認知度を高め、産業化を推進するため、ブランド力のさらなる向上に取り組むとともに、ガラスと建築及び構造物との融合や、食とのマッチングなど異業種交流を活発化することで、ガラスの持つ可能性を広げ、商品力の向上に取り組めます。

■市民に期待する役割

*知識や技能等を活かして、新たな事業に取り組む。

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	1.新たな価値を創出する産業づくり
施 策	(4) 強い農林水産業の振興

■現状と課題

本市は、中心市街地だけでなく、公共交通の駅やバス停の徒歩圏に居住を推進するとともに、日常生活に必要な都市機能を集積する「お団子と串」の都市構造を目指しています。

一方、田園地帯が広がる郊外や中山間地域については、富山湾の恵みや豊かな自然環境など、それぞれの地域特性や地域資源を活かしたまちづくりを目指しており、その実現のためには、農林水産業の振興が重要な役割を果たすものと考えています。

一方、本市の農業は、水田を基幹とした生産基盤となっていますが、高齢化や後継者不足に直面しておりが進行し、兼業率も高いことから、農業経営の大規模化を進めるとともに、有機栽培など付加価値の高い作物の栽培や6次産業化など農業経営の多角化を通じて収益力の高い農業を実現し、大規模経営農家や集落営農組織を育成し、規模拡大による低コスト化や生産性の向上、高付加価値化などにより、国内外での競争力を高める必要があります。

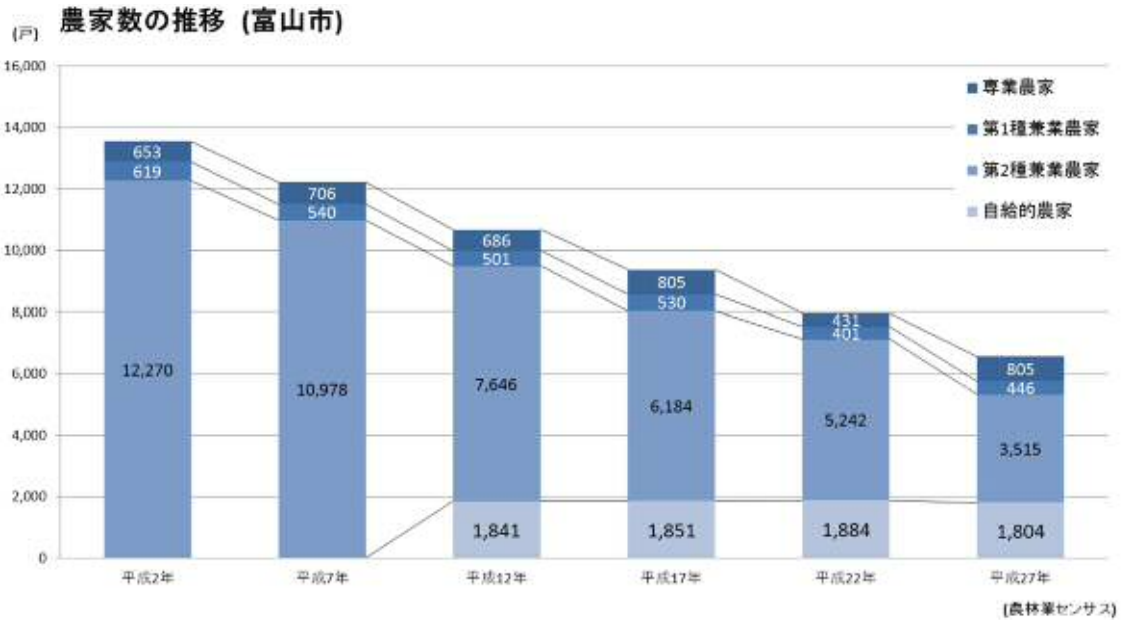
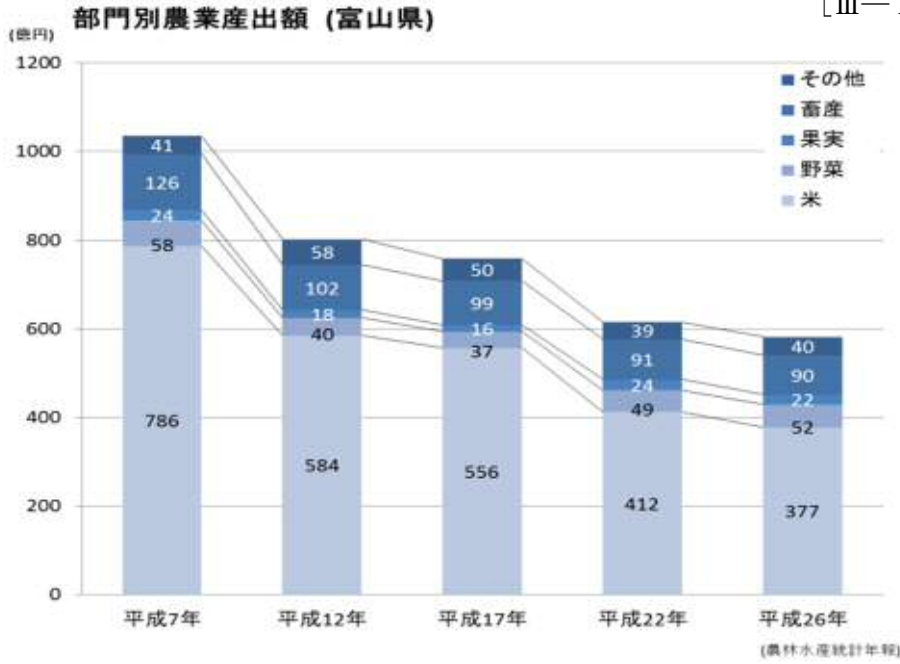
近年、安心・安全かつ新鮮な農産物を求める消費者の声が志向の高まっていることりから、「地産地消」の機運が高まっており、「地産地消」を推進する体制を強化する必要があります。

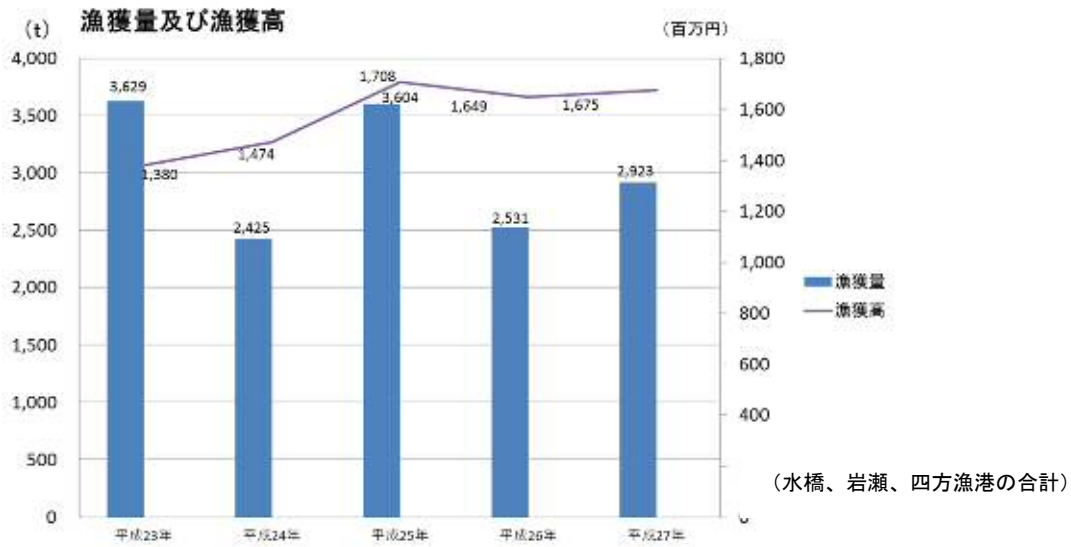
また、健康意識の高まりから、薬用作物・健康作物の需要が高まっており、本市においても「薬都とやま」の強みを活かし、生産の拡大が求められます。

水産業では、主要魚種のホタルイカ、シロエビは、漁業関係者によるブランド化などの努力が魚価に反映されつつあり、引き続きバランスの取れた持続可能な取り組みが求められます。

林業では、山村地域の過疎化・高齢化の進行による後継者不足や長期的な木材価格の低迷などにより収益が悪化しており、造林や素材生産の低コスト化、放置が進む人工林等の計画的な間伐と有効活用、市内産材の活用の拡大などをあわせて推進する必要があります。

さらに、近年、中山間地域でのイノシシや平野部でのカラスなどにより、農作物被害や人身被害が急増しており、パトロールや捕獲体制の強化、被害防止対策の充実が求められています。





有害鳥獣による農作物被害額の推移

(万円)

鳥獣名	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
カラス	1,214	1,283	1,208	1,390	1,025	2,946	4,980	2,825	3,715	4,814
ヒヨドリ	251	260	270	264						
カモ							64			
ムクドリ	755	782	777	745	815				280	531
スズメ		11	39		8		46	36	69	25
サギ										
キジ	50	50	54	63						
クマ					17					
ニホンザル	281	238	182	236	279	209	205	196	71	107
イノシシ	59	439	938	489	1,104	885	427	703	747	1,344
ハクビシン	50	77	83	90	1	3	22	5		
ネズミ				3		6				
タヌキ		22						1		
アナグマ			10							
カモンカ		3	1							
計	2,660	3,165	3,562	3,280	3,249	4,049	5,744	3,766	4,882	6,821

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
農林産物直売所の販売額	直売所の設置・販売状況調査による販売額	年1%程度の増加を目指す。	1,022百万円(27年度)	1,073百万円

認定農業者等の担い手が占める経営面積比率	市内の水田面積に占める認定農業者等担い手の経営面積の割合	富山市担い手育成総合支援協議会事業計画及び富山市農業再生協議会水田農業ビジョンの育成目標に基づき、割合の増加を目指す。	42.3% (27年度)	70%
薬用作物・健康作物の栽培面積	薬用作物・健康作物の栽培面積	薬用作物：28年度から3.1haの増加を目指す。 健康作物：エゴマは35ha、その他で1.6haの作付けを目指す。	薬用作物の栽培面積 5.9ha 健康作物の栽培面積 14.3ha (28年度)	薬用作物の栽培面積 9.0ha 健康作物の栽培面積 36.6ha
地域材生産量	市内産材から住宅建材やチップ・ペレット等が生産された量	地域材の活用促進に努め、約15%の生産量の増加を目指す。	14,000 m ³ (27年度)	16,000 m ³
有害鳥獣による農作物被害額	有害鳥獣による農作物被害額	被害防止対策を推進し、被害額の低減を目指す。	6,821万円 (27年)	5,500万円

■施策の方向

①地産地消の促進

「地場もん屋総本店」など農林産物直売所での地場農林産物や農産加工品の販売を支援することにより、地産地消を推進し、生産者の掘り起こしや育成を図ります。

②6次産業化の推進

6次産業化の普及啓発や農業者と商工業者とのマッチング、さらにはコミュニティビジネスの推進など、新たに6次産業化に取り組む農業者などを支援します。

③担い手への農地集積促進と農業生産基盤の整備

農業基盤整備及び地域の中心経営体となる意欲ある担い手（認定農業者、集落営農組織等）への農地集積を進めることにより、経営面積の拡大や機械の共同所有・利用を推進することで、農業経営の低コスト化、省力化、経営基盤の強化を図るとともに有機栽培などの高付加価値化を推進するなど、「攻めの農業」の展開を目指します。

また、中山間地域において、地域おこし協力隊など国の支援策を積極的に活用し、特産品の開発や販売支援等による農村振興を図ります。

④薬用作物・健康作物の栽培振興

薬用作物ではシャクヤクやトウキなど、また健康作物ではエゴマなどを奨励作物とし、生産者への農業用機械等の導入支援などを行い、栽培面積の拡大を目指します。

また、栽培したエゴマの葉や油の成分研究を行うほか、海外と連携した新たなオイルの開発などに取り組むことにより、エゴマの高付加価値化と国内外での普及展開を目指します。

⑤持続可能な水産業の展開

シロエビやホタルイカ等のブランド魚種について、適正な漁獲による持続的な資源管理が図られるとともに、ブランドイメージが向上し、一層の消費拡大につながるよう努めま

す。

また、漁労作業の省力化のための機械の導入や、クルマエビやヒラメ等の栽培漁業を支援し、持続性のある漁業の振興に努めます。

⑥持続可能な林業経営の展開と適切な森林施業の基盤整備

高性能林業機械などの導入支援等により、林業経営の安定化を図るとともに、市内産材の住宅建材への需要の拡大や間伐材の木質ペレット等への活用を促すなど、地域材の消費拡大に努めます。

また、公共建築物については可能な限り木造化や内装などの木質化を促進します。

⑦有害鳥獣による農作物被害の低減

鳥獣被害防止特措法に基づき、捕獲や防護柵の設置などの活動を担う「富山市鳥獣被害対策実施隊」を設置するとともに、イノシシ等の捕獲に対する報奨金制度やカラス防除用ワイヤーの設置及び新規狩猟免許取得者への支援等により、有害鳥獣対策の強化を図り、農作物被害の低減に努めます。

■市民に期待する役割

- *生産者は、安心・安全な地場産品を出荷し、消費者は地場産品の積極的な購入に努める。
- *6次産業化により生産された加工品などの購入に努める。
- *耕作できない農地を地域の担い手に預ける。
- *地域材への理解を深め、燃料としての利用や建築資材としての活用などに努める。
- *有害鳥獣対策では、捕獲対策や被害対策に協力する。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
富山とれたてネットワーク事業	地場もん屋総本店の運営	事業の継続実施
6次産業化ステップアップ支援事業	農業者と商工業者とのマッチングによる新たな商品開発と普及啓発	事業の継続実施
担い手総合支援事業	機構集積協力金や「目指せ担い手」農地集積促進事業による農地集積	事業の継続実施
集落営農等促進対策事業	集落営農組織の育成・強化及び生産調整に対応するための農業用機械等の導入支援	事業の継続実施
薬用植物振興対策事業	新規作付け・継続作付けに対する支援、農業用機械の導入支援	事業の継続実施
地域材活用促進事業	地域材使用住宅への支援	事業の継続実施
代替エネルギー用材等活用促進事業(再掲Ⅱ-4-2)	代替エネルギー用材搬出促進補助	事業の継続実施
鳥獣対策事業	鳥獣被害対策実施隊運営、イノシシ等捕獲報奨金、カラス防除用ワイヤー設置支援等	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	1.新たな価値を創出する産業づくり
施 策	(5) 活力を創出する人材育成

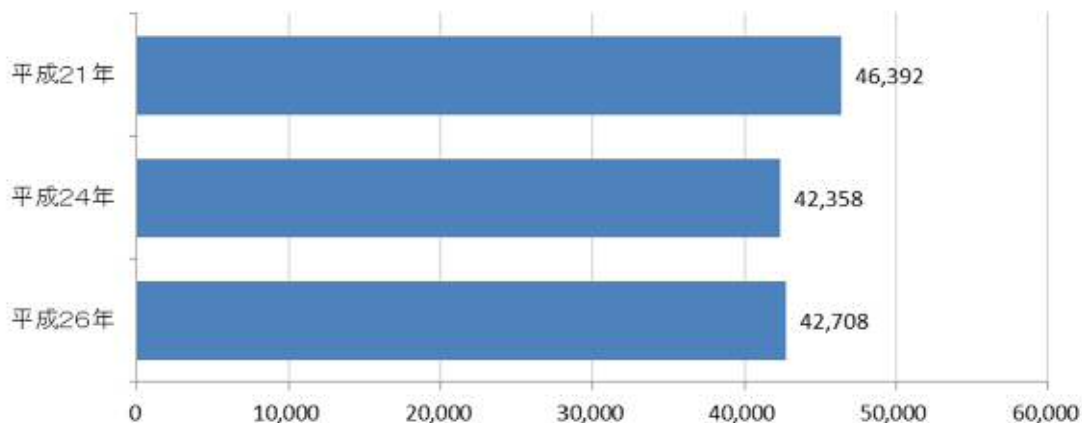
■現状と課題

少子高齢化により生産年齢人口が減少する中、付加価値の高い産業の担い手となる高度人材・専門人材のほか、地域の課題に取り組む社会的起業家やコミュニティの担い手など地域を支える人材の確保・育成と高齢者や女性など多様な人材の活躍が求められます。

商工業では、新規創業者及び新事業の展開に取り組む事業者を支援する必要があります。

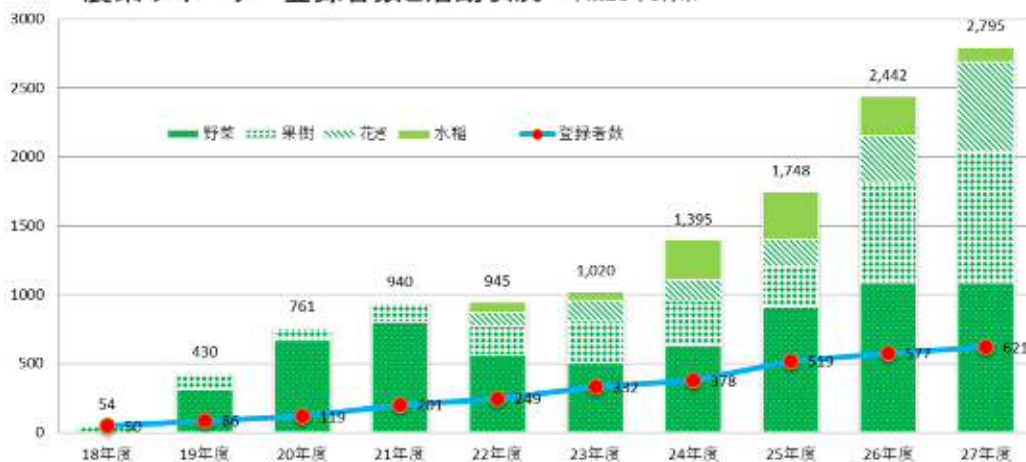
農業では、従事者の高齢化と後継者不足が進行する中、「営農サポートセンター」での、新たな担い手の育成・支援のさらなる充実が求められます。

富山市商業（小売業・卸売業）の従業員数の推移



出典：平成21年・26年 経済センサス基礎調査、平成24年経済センサス活動調査

農業サポーター登録者数と活動状況 平成28年3月末



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
事業所の新規開業率 (再掲Ⅲ-1-(1))	経済センサスにおける新規開業率(全産業)	新規開設の事業所数増により新規開業率の増加を目指す。	1.5% (24年度)	3.0%
認定農業法人経営体数	認定農業法人の経営体数	経営基盤の安定した経営体の育成に努め、20経営体の増加を目指す。	81経営体 (27年度)	101経営体
農業サポーター登録者数	農業サポートの従事を希望する既研修受講者の延べ人数	人材育成の結果として活躍できる農業サポーターの人数で800人を目指す。	621人 (27年度)	800人

■施策の方向

①各産業を支える人材育成

厳しい経営環境を乗り越えるためのリーダーを育成するため、多様な企業などの連携により、産業を支える人材ネットワークの構築や経営者が世代間や異業種間で交流する機会の創出に努めます。

また、集落営農組織の設立や法人化を推進するなど、経営基盤の安定した経営体の育成を図るとともに、新規就農者の拡大に努めます。

さらに、趣味や生きがいとして、農業に携わりたい方に農業研修を実施し、農作業をサポートできる人材を育成し、労働力不足に悩む農業者に紹介することで農業技術などの継承を図る楽農学園事業を推進します。

②起業家への支援

四方チャレンジ・ミニ企業団地やとやまインキュベータ・オフィスでは高度なものづくりや都市型産業の起業家を育成し、新産業支援センターでは成長分野の研究開発型ベンチャーの育成に努めます。

景気動向や起業家のニーズを的確に捉えながら、創業者や新たな分野へ事業展開を図る事業者の資金面での支援を行うほか、「創業支援事業計画」に基づき、経済団体などと連携したセミナー等を開催し、創業支援に努めます。

さらに、創業後も、(財)富山県新世紀産業機構や商工会議所などの関係機関と連携を図りながら事業経営の支援に努めます。

また、若い農業者の技術習得や、新規就農者の経営安定化を支援します。

■市民に期待する役割

*自らの知識や経験を活かし、商工業や農業の担い手として積極的に活動する。

*農業サポーターの活動に参加し、農業を支援する。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
とやま経営実践塾	経営者コース、マネジメントコースの実施	事業の継続実施
担い手総合支援事業	集落営農組織や農業法人の設立及び新たに農業参入する企業等の支援	事業の継続実施
楽農学園事業	とやま楽農学園での研修講座、実務研修、農業サポーターの活動支援	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	2.観光・交流のまちづくり
施 策	(1) 広域・滞在型観光の推進

■現状と課題

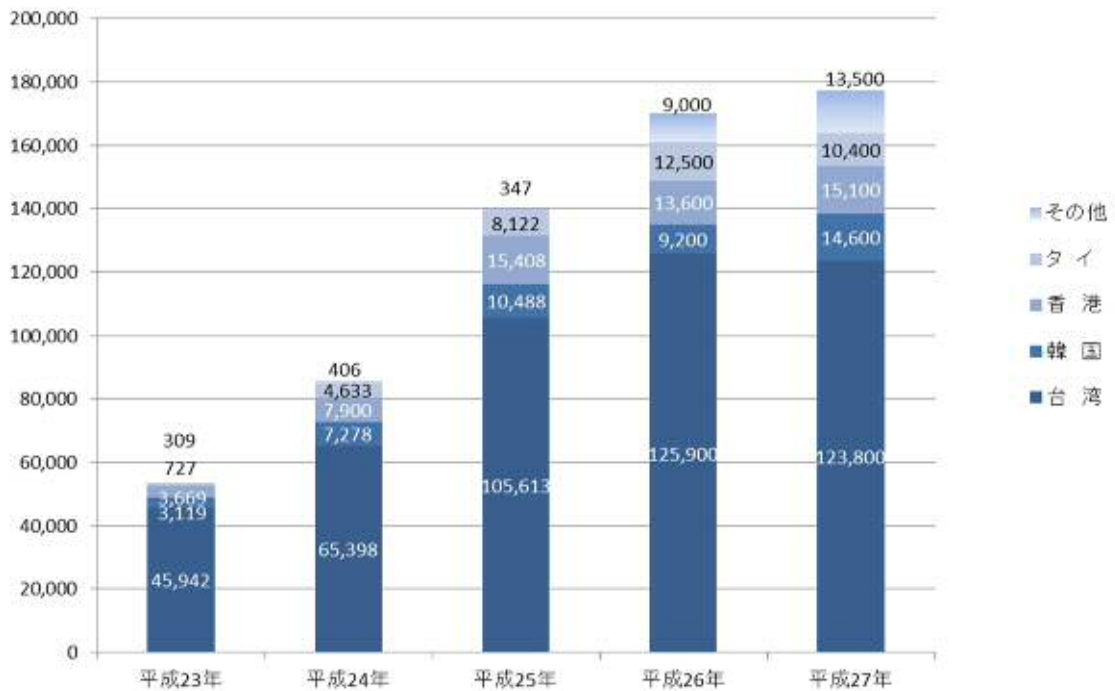
北陸新幹線の開業や羽田空港での国際線乗り継ぎの改善などにより、国内外から本市へのアクセスが向上し、観光のみならず多様な目的を持つ人が交流しやすい環境の整備が進んでいます。

こうした中、本市が広域観光のためのゲートウェイとして、また、滞在拠点として選択されるためには、広域的な連携や産業観光、国際観光、ニューツーリズムなど、より広域的視点に立った取り組みが必要となっています。

また、滞在型観光は、将来的に、週末や季節に応じて、本市に滞在する二地域居住（マルチハビテーション）などにつながる可能性もあり、リピーターとして訪れる「富山ファン」の獲得に努める必要があります。



立山黒部アルペンルートの訪日団体観光客数



■ 目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
富山県観光客入込数調査による宿泊者数	市内におけるホテル・旅館の延べ宿泊者数	基準数値の10%増を目指す。	1,461,772人(27年)	1,608,000人

■ 施策の方向

① 富山を拠点とした広域観光の推進

本市では、新幹線富山駅を中心とする複数の鉄道路線と南北に延びる路面電車路線を有するなど、利便性の高い地域交通網を形成しています。と二次交通網の結節点である富山駅、また、市内中心部や高速道路のインターチェンジに近い恵まれた立地条件にあるとともにも、羽田便のほか台北便などの国際定期便が就航する富山空港を有しています。おり、これらの優位性を活かし、本市を拠点とする広域観光のゲートウェイとしての役割を担っていきます。

また、観光交流協定都市や北陸新幹線沿線都市などとの連携を深め、広域観光を一層推進します。

② 富山の魅力を活用した滞在型観光の推進

本市を滞在拠点として、市内はもとより、県内外の観光地を巡るほか、角川介護予防センター等での検診や温泉を活用した介護予防サービスにより心身のバランスを整えるヘル

スツーリズムなど、新たな滞在型観光を旅行業者等と連携して、研究・企画することで、交流人口の拡大を図ります。

③インバウンド(外国人観光客)の誘致促進

国際線との乗継ぎに便利な羽田ー富山便を活用した体験型モデルツアーの実施や、市内に宿泊する国外からのスキーツアー客に対する助成、外国人宿泊者への路面電車無料券の配布などを行い、本市を訪れる外国人観光客の増加を図ります。

また、官民一体となって中心市街地や美術館・博物館、岩瀬及び八尾地区等、多くの観光客や市民が訪れる施設等において、無料 Wi-Fi の整備を推進するとともに、クレジットカードや電子マネーなど、時代に即した決済方法が利用できる箇所の拡充を図ることで、外国人観光客が快適に旅行できる環境づくりの推進に努めます。

■市民に期待する役割

- * 観光交流協定都市等について理解を深める。
- * 富山ならではの魅力について理解し、観光客などに対して、おもてなしの心をもって案内・交流する。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29~33 年度)
観光実践プラン改訂事業	プランの策定	プランの見直し

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	2.観光・交流のまちづくり
施 策	(2) 観光資源の創出・発信と受入体制の整備

■現状と課題

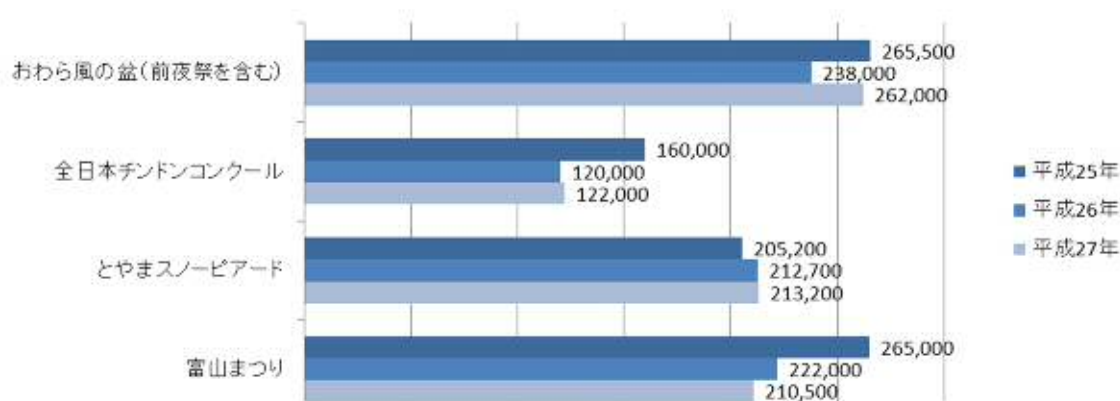
本市には、豊かな自然、地域で育まれた文化、地域の歴史を物語る施設、美しい都市空間などに加え、「ものづくりのまち」として医薬品製造をはじめとした産業観光資源が点在しています。

今後は、これらに加え、新たな観光資源の掘り起こしや既存の観光資源のブラッシュアップにより、近年増加する外国人を始め、登山やスポーツをする人、障害のある人及び療養や健康目的の人など多様な観光客の受け入れ体制を整備するとともに、これらを通じた富山型観光産業の育成が求められています必要があります。

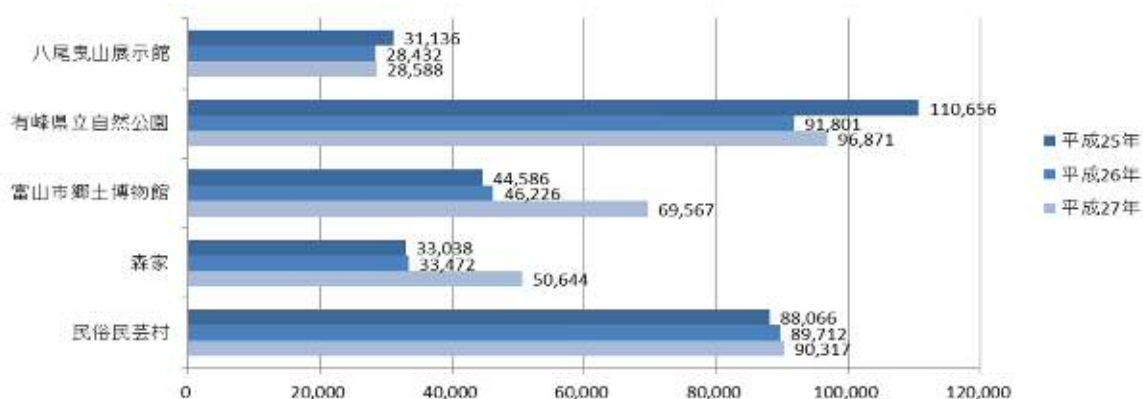
また、「富山のくすり」の強みを活かした、「富山やくぜん」や「薬都富山のめぐみ 食やくシリーズ（富山のお土産）」の商品価値の維持・向上、新鮮な富山食材とイタリア料理とのコラボレーションなどの取り組みにより、さらなるブランド力の向上が求められます。

これらに加え、「ます寿し」や水産加工品、越中八尾和紙、富山木象嵌、とやま土人形などの豊富な特産品を、首都圏等へ北陸新幹線沿線都市と連携し、PRするとともに、購買力ある国外市場に対する取り組みも促進する必要があります。

主な観光行事の観光客入込み数



主な観光資源の観光客入込み数



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
観光サポーター研修受講者数	観光サポーター研修の累計受講者数（延べ人数）	基準数値（5年間累計）の10%増を目指す。	474人 (23年～27年)	520人 (29年～33年)
「富山やくぜん」認定更新研修会の受講認定事業者数	更新研修を受講した認定事業者数	更新制により水準を向上させ、5年間の累計で100事業者を目指す。	15事業者 (28年度)	100事業者 (29年～33年)
「食やくシリーズ」など販売数	年間販売数	新幹線開業直後の販売数の維持・増加を目指す。	20,000個 (27年度)	25,000個

■施策の方向

①地域資源の活用による新たな観光資源の創出

本市の豊かな自然や地域で育まれた文化など、魅力的な観光資源の情報発信に努めるとともに、本市の基幹産業である医薬品や工業製品の製造現場など、さまざまな産業観光資源の魅力を発信していきます。

また、ます寿司づくりやガラス制作などの体験型観光を推進するとともに、新たな観光資源の掘り起こしや既存の観光資源のブラッシュアップに取り組みます。

さらに、富山フィルムコミッションの取り組みとして、映画、テレビドラマ、CMなどの様々なジャンルのロケーション撮影を誘致・支援し、観光客等の拡大につなげます。

②多様化する観光客への観光情報発信と受け入れ体制の充実

より多くの観光客などに、本市の魅力を体感してもらうために、多様なニーズに対応した情報発信を積極的に行います。

また、観光客の満足度を向上させ、リピーターの増加につながるよう、観光客に対するおもてなしの機運の醸成に努めます。

③富山ブランドの確立・推進

地域ブランドである「富山のくすり」をはじめ富山の物産の特色・魅力を効果的に国内外に発信することに努めます。

また、「富山やくぜん」の普及を図るとともに、商品価値を高めるため認定更新制度を実施します。

「薬都富山のめぐみ 食やくシリーズ」の展開では、新たに開発・販売に参入する事業者などへの支援や、隠れた資源の発掘に努めます。

さらに、とやまクッチーナ イタリアーナ事業として実施してきた、新鮮で安心安全な富山食材を活かした富山イタリアンの普及促進などによる富山発信の食文化の創造と知名度の向上に取り組むとともに、イタリア料理とのコラボレーションによる新たな食文化の創造などに努めます。

■市民に期待する役割

- * 観光ボランティア活動に参加し、国内外の観光客に対して案内を行う。
- * 障害のある人や高齢者など移動や宿泊において支援を必要とする方々の受け入れについて理解を深める。
- * 「富山のくすり」の歴史や「富山やくぜん」に対する理解を深め、その魅力を発信する。
- * 新鮮で安全な富山の物産の豊富な種類や販売場所などの PR 及び利用に努める。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
観光サポーター研修事業	観光サポーター研修の実施 観光ボランティア研修・協議会運営	事業の継続実施
富山やくぜん普及推進事業	「富山やくぜん」認定店 PR ガイドマップの作成、ホームページの拡充等	「富山やくぜん」研修会の開催 「富山やくぜん」PR 冊子の作成 SNS 等を利用した PR
商品力向上支援事業	富山の物産商品力向上セミナーの開催 新商品開発支援、商品 PR・販売戦略支援、販路拡大支援	事業の継続実施
富山ブランド市開催事業	富山ブランド市（物産展）の開催	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	2.観光・交流のまちづくり
施 策	(3) 多様な交流の促進

■現状と課題

北陸新幹線の開業や羽田空港での国際線乗り継ぎの改善などにより、観光のみならず多様な目的を持つ人が交流しやすい環境の整備が進んでいます。

本市には、富山国際会議場、富山市芸術文化ホール（オーバードホール）等の大規模な会議などができるコンベンション施設があり、富山大手町コンベンション（株）や（公財）富山コンベンションビューローと連携し、主催者への支援などを通じたコンベンションの誘致に努めることが求められています。

さらに、コンベンション参加者を本市のリピーターとするためには、会議にあわせ市内を観光し、地元の料理を味わうなどのアフターコンベンションの充実が必要となります。

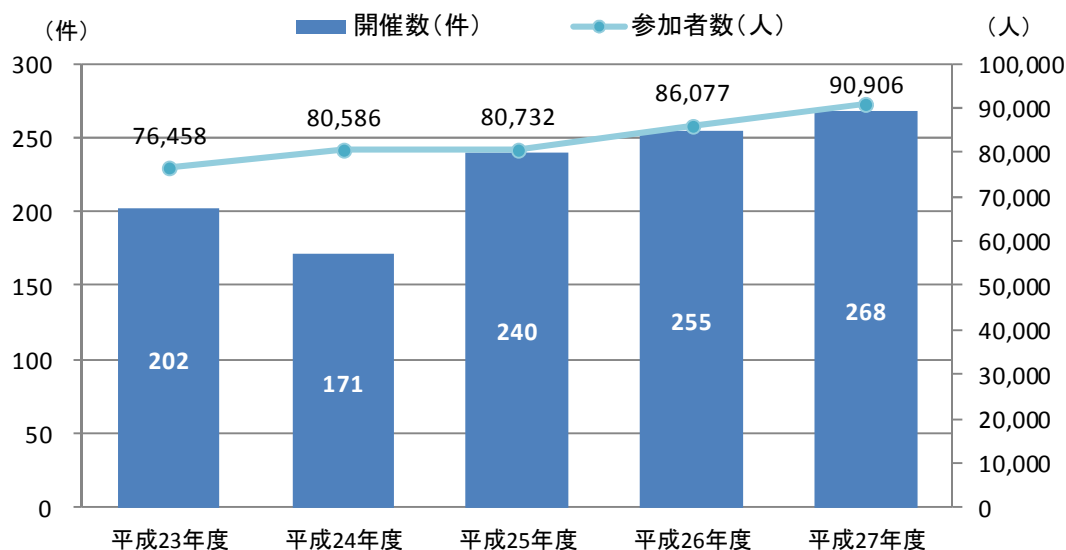
また、国際交流については、これまで、4つの都市との姉妹・友好都市締結を通じて、相互交流活動を実施・支援してきました。

しかし、締結から数十年を経過し、本市と各都市を取り巻く環境も大きく変化する中で、姉妹・友好都市に限らず海外都市との間で、少子高齢化や環境問題への対応など都市が直面する行政課題の解決に向けた国際協力・貢献への転換が求められています。

一方、労働力不足の懸念から外国人労働力への期待が増す中で、本市では東南アジア諸国からの技能実習生などが増加しています。

こうした中、外国人の住民や観光客にとっても安心して過ごせるまちづくりを進めることにより、外国人と市民との交流機会の増加が見込まれるとともに、互いを認め合うことで新たな価値が創造され、もって本市の活力の向上につながることを期待されます。

県内のコンベンション開催状況



平成27年度コンベンション参加者の富山県内での1人平均消費額
(単位:円)

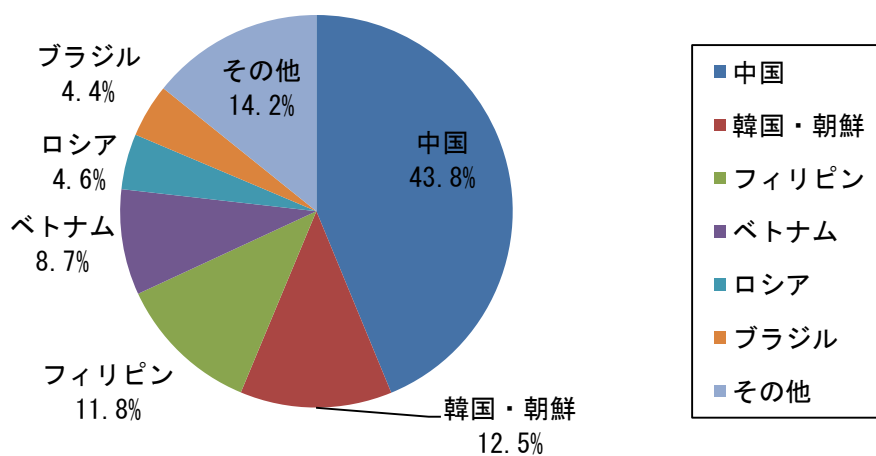
項目	金額
宿泊費	16,940
食費	9,628
遊興・娯楽費	1,965
お土産費	8,322
県内交通費	7,095
コンベンション参加費・その他	9,926
合計	53,876

公益財団法人富山コンベンションビューロー調べ

外国人登録者数(各年12月末現在)



外国人登録者の国別割合(平成27年12月末日現在)



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
コンベンション開催数及び参加者数	県外参加者が「100人以上で会期が2日以上」または「50人以上で会期が3日以上」のコンベンションの開催数及び参加者数	基準数値の10%増を目指す。	開催件数82件 参加者数 55,333人 (27年度)	開催件数90件 参加者数 60,866人

■施策の方向

①コンベンション誘致の推進

コンベンション開催補助制度など各種支援制度をPRするとともに、富山大手町コンベンション（株）や（公財）富山コンベンションビューローとの連携強化などにより、コンベンションの誘致に努めます。

また、宿泊事業者とも連携しながら、本市への合宿誘致の推進に努めるとともに、コンベンションの国際化に対応するため、人的ネットワークの強化を図りながら、国際コンベンションの開催支援に努めます。

②アフターコンベンションの充実

会議参加者に富山を楽しんでいただくため、各種団体や市民と行政が連携した、おもてなしの体制づくりに努めます。

また、アフターコンベンションでの観光を充実するため、飲食情報や特産品の紹介など、四季折々の旬の情報提供に努めるとともに、観光タクシー料金の助成や路面電車利用券の配布を行うことで、県内観光地の回遊性の向上を図ります。

③さまざまな国際交流活動への支援

姉妹・友好都市との交流については、行政主体から、市民主体の国際交流活動への移行を促進し、富山市民国際交流協会など関係団体の取り組みを支援します。

④外国人が過ごしやすいまちづくり

外国人と住民が、互いを尊重し認め合いながら、地域の一員として共に暮らしていくため、多文化共生のまちづくりを推進します。

また、災害時における通訳ボランティアを確保するなど、防災支援体制の整備を図ります。

■市民に期待する役割

* コンベンションボランティアに登録し、おもてなしの心をもって、来街者と接する。

* 自らの経験を活かして国際交流・国際協力に取り組み、積極的にその活動を広げる。

* 外国人住民も日本人住民と同様に地域活動などが行えるよう、よりきめ細かな情報提供や活動支援を行う。

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	3.いきいきと働けるまちづくり
施 策	(1) 多様な雇用機会の創出

■現状と課題

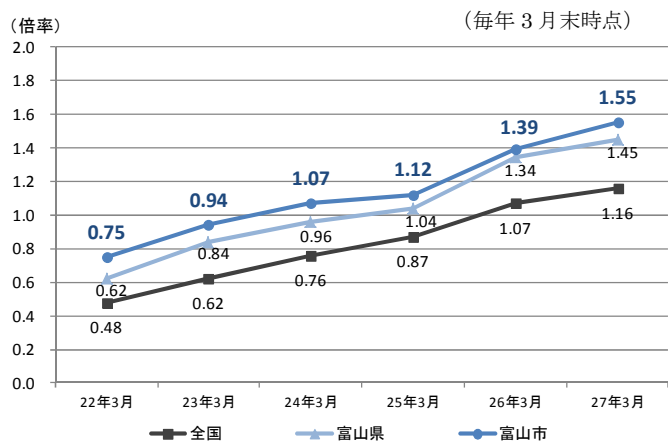
少子高齢化により生産年齢人口が減少し、労働力不足が避けられない状況にあります。

一方で、地方から東京圏への人口の流出が続いています。

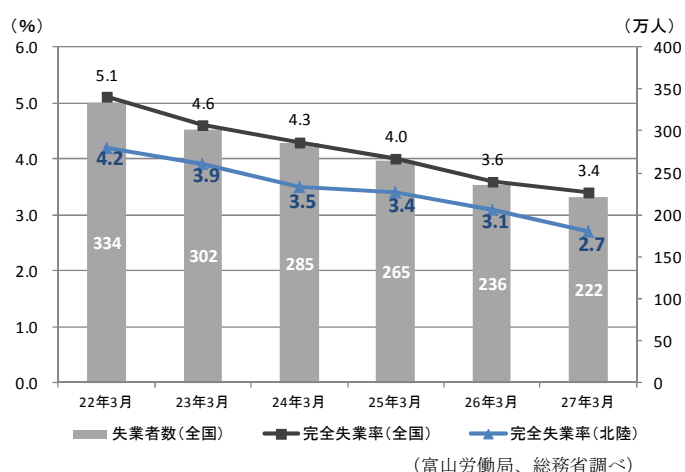
このような中、若年者が本市で働くことに魅力を感じ、地域の担い手として誇りを持って市内企業に就職したり、起業できるよう支援することや、働く意欲のある高齢者、障害者、女性、ひとり親など多様な人材が活躍できる雇用環境の整備が求められます。

一方、非正規雇用労働者については、雇用の不安定・低賃金などの問題が発生しており、経済的自立を促すためにも安定かつ良質な雇用の確保を図る必要があります。

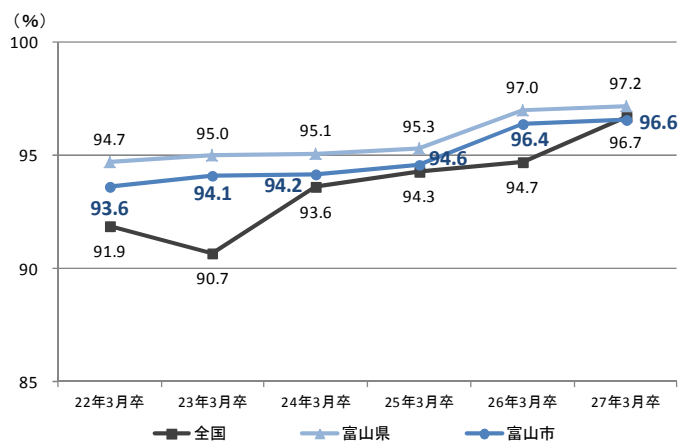
有効求人倍率



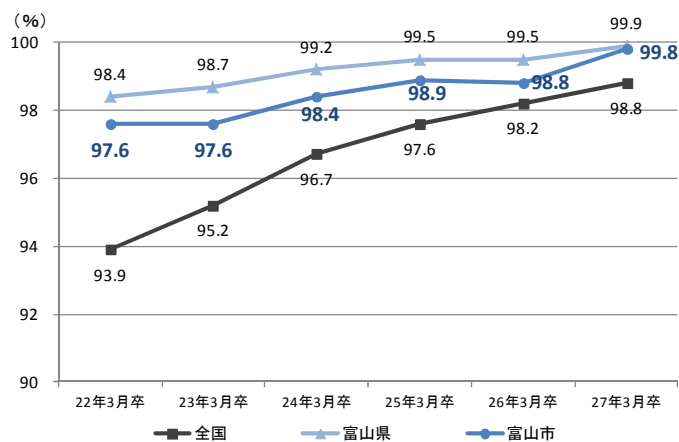
失業率・失業者数



大学等卒業者の内定状況

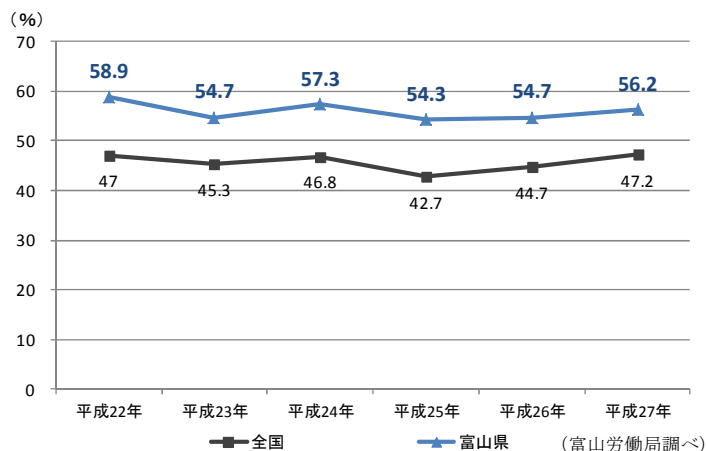


高等学校卒業者の内定状況

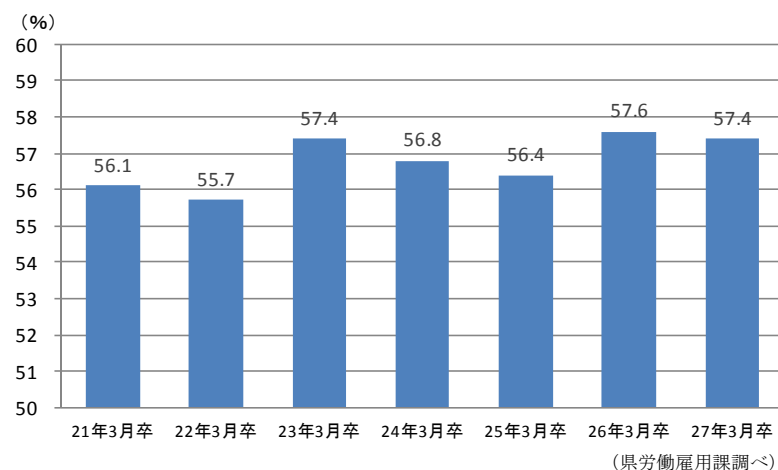


(出典：大学等卒業者就職状況調査、高校・中学新卒者の就職内定状況 富山労働局)

障害者雇用状況



県内高校出身の県外大学卒業者のUターン就職率



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
県内高校出身の県外大学生のUターン就職率	県内高校の卒業生で県外に進学した大学生のうち、Uターン就職した大学生の割合	県等と連携を図りながら、60%以上を目指す。	57.4% (26年度)	60%
県内大学卒業生の県内就職率	県内大学の卒業生で就職した者のうち、県内企業等に就職した割合	県等と連携を図りながら、50%以上を目指す。	44% (26年度)	50%
富山市無料職業紹介所を通じて就職した人数	無料職業紹介事業の実施により、就職できる人数	就労相談や職業紹介等を実施することにより、各年度において、10件の増加を目指す。	50件 (28年度)	100件
市内事業所での障害者雇用率達成割合	法定障害者雇用率 2.0%を達成した一般の民間企業の割合	法定障害者雇用率達成割合について 55%程度を目指す。	50.1% (27年度)	55%
高齢者人材バンクのマッチング件数	高齢者人材バンクの利用により、就職できる人数	●●	—	●●

■施策の方向

①雇用機会の拡大と就労支援

大学生などが市内企業に就職する契機となるよう、地元及び大都市圏に暮らす学生に、本市や市内企業の魅力をプレゼンテーションする企業説明会を開催し、UIJ ターンを促進します。

また、市内企業の概要や採用情報等をホームページで紹介するなど、関連機関とも連携しながら、本市での就職の促進に努めます。

また、障害のある人、ひとり親家庭の父母、高齢者等の就労機会の拡大を図るため、国・県など関係機関と連携し、雇用の場の拡大について企業に働きかけるとともに、雇用奨励金制度などにより、雇用の促進と安定に努めます。

とりわけ、65 歳以上の高齢者が、意欲をもって元気に働き続けることができる社会の実現に向け、シルバー人材センターへの登録の推進を図るとともに、高齢者と市内企業とをマッチングし、高齢者が培ってきた知識や経験を活かし、市内企業の生産性向上や経営改善につなげる仕組みを構築します。

求職者や就労支援を必要とする者に対しては、市庁舎内の富山市無料職業紹介所「JOB 活とやま」で、職業紹介や就労相談を行い、福祉部門とも連携を図りながらワンストップサービスによる円滑な就労支援に努めます。

さらに、ライフスタイルや価値観に応じた多様で柔軟な働き方を可能にするため、国・県等と連携しながら「働き方改革」の推進に努めます。

■市民に期待する役割

- * 事業者は若年者、女性、障害者、高齢者など、広く雇用の拡大に努める。
- * 新規学卒者をはじめとする若年者は、地域の担い手として市内企業への就職を意識する。
- * 求職者や就労支援を必要とする者は富山市無料職業紹介所「JOB 活とやま」などを活用して早期の就労に努める。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
若年者就職支援事業	学生と市内企業との面談の場の提供、企業情報ホームページによる市内企業の情報発信	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	3.いきいきと働けるまちづくり
施 策	(2) 勤労者福祉の向上

■現状と課題

雇用環境の変化や価値観が多様化する中、勤労者がゆとりと豊かさを実感できるよう、勤労者福利厚生事業の充実を図る必要があります。

また、仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）を支援し、誰もがその能力を十分に発揮しながら、安心していきいきと働くことのできる環境の整備が求められています。

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
事業所内保育施設 の市内設置件数	富山市内に設置されている事業所内保育施設の数	補助制度の活用等により、累計 25 件の設置を目指す。	19 件 (27 年度)	25 件

■施策の方向

①勤労者福祉の向上

企業における労働環境の改善のため、適正な労働管理や有給休暇の取得などについて、関係機関と連携を図りながら啓発活動に努めます。

また、中小企業の勤労者等に対する福利厚生事業を実施する（公財）富山市勤労者福祉サービスセンター（Uサポートとやま）の適正な運営を支援します。

さらに、退職金共済制度への加入に対する支援など、勤労者の生活安定に努めるとともに、呉羽ハイツやとやま自遊館などの勤労者福祉施設の利用促進を図ります。

②仕事と家庭が両立できる職場環境づくり

平成 28 年 4 月に全面施行された女性活躍推進法のほか、育児・介護休業法や次世代育成支援対策推進法等について、国や県などの関係機関と連携し、普及・啓発に努めます。

また、仕事と家庭の両立支援（ワーク・ライフ・バランス）の推進に向けた広報・啓発活動に努めるとともに、事業所内保育施設の設置を促進するなど、子育てをする勤労者の支援に努めます。

■市民に期待する役割

* 事業者は、職場の就業環境の向上、仕事と家庭が両立できる職場環境の整備、高齢者や女性などの活躍推進に努める。

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	3.いきいきと働けるまちづくり
施 策	(3) 二地域居住・移住の支援

■現状と課題

県外の方へ、週末や季節に応じて、地方に滞在する二地域居住（マルチハビテーション）についての調査を行ったところ、約 35%の方にその意向があり、実際に二地域居住をされた方からも、富山の自然環境を含めた生活環境が魅力であるという意見が聞かれます。

本市では、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりに取り組む中、暮らしやすさを示す各種指標は、全国的にトップクラスにあり、今後は、定住・半定住の促進に向け、より効果的な情報発信や受入体制の構築が必要です。

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
マルチハビテーション推進事業補助件数	富山市マルチハビテーション推進事業の補助累計件数	補助制度を活用し、毎年2件の二地域居住者の受入を目指す。	12件 (28年度まで)	22件

■施策の方向

①マルチハビテーションの推進

都市部に暮らす方などが、週末や季節に応じて、本市に滞在する二地域居住（マルチハビテーション）は、広域交流の推進と、地域・経済の活性化をもたらすこととなり、将来的な移住・定住も期待出来ることから、二地域居住先として本市を選択してもらうきっかけとして、まちなかに住宅を取得する県外居住者を支援します。

■市民に期待する役割

*二地域居住者へのおもてなし及び移住者との積極的な交流に努める。

■総合計画事業概要

事業名	現況	事業の概要
マルチハビテーション推進事業	マルチハビテーション推進事業補助金	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	4.歴史・文化・芸術のまちづくり
施 策	(1) 伝統的文化・文化遺産の保全・活用

■現状と課題

岩瀬地区のまち並みなどの地域の歴史や伝統文化を物語る貴重な資源を活用し、まちの活性化につなげていくことが求められます。

一方、担い手の高齢化や後継者が減少している状況を踏まえ、次世代への伝統文化継承のための対策が必要となっています。

富山市内の国指定文化財一覧

No.	種 別	名 称
1	建 造 物	浮田家住宅（主屋・表門・土蔵）
2	建 造 物	旧森家住宅
3	建 造 物	富岩運河水閘施設（中島閘門）
4	建 造 物	白岩堰堤砂防施設
5	絵 画	絹本着色法華経曼荼羅図
6	彫 刻	木造十一面観音立像
7	彫 刻	木造聖観音立像
8	工 芸 品	太刀銘 一助成
9	工 芸 品	太刀銘 次忠
10	工 芸 品	刀銘 住東叡山忍岡辺長曾祢虎入道/寛文拾一年二月吉日
11	工 芸 品	太刀銘 真守造
12	工 芸 品	脇差 無銘 伝正宗
13	書 跡	仏祖正伝菩薩戒教授文
14	考 古 資 料	境A遺跡出土品
15	考 古 資 料	硬玉製大珠 (富山県氷見市朝日貝塚出土)
16	有 形 民 俗 文 化 財	富山の売薬用具
17	無 形 民 俗 文 化 財	越中の稚児舞
18	史 跡	北代遺跡
19	史 跡	直坂遺跡
20	史 跡	王塚・千坊山遺跡群
21	史 跡	安田城跡
22	特別天然記 念 物	薬師岳の圏谷群
23	天 記 念 然 物	真川の跡津川断層
24	天 記 念 然 物	猪谷の背斜・向斜
25	天 記 念 然 物	横山楡原衝上断層
26	天 記 念 然 物	新湯の玉滴石産地

■ 施策の方向

① 文化遺産等の保全・活用

地域の活性化を図るために、岩瀬地区などの歴史的な景観を形成している伝統的な建造物群を、文化財として保存・活用することに努めます。

また、国指定の伝統工芸品である「越中和紙」や県指定の「とやま土人形」、「富山木象嵌」をはじめとした各種伝統工芸を守り育てるため、その技術の継承と振興に努めます。

■ 市民に期待する役割

* 地域の共有財産である文化財の歴史と価値を正しく理解する。

■ 総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
文化遺産等保全活用推進事業	浮田家住宅保存修理事業	旧馬場家住宅保存活用整備事業

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	4.歴史・文化・芸術のまちづくり
施 策	(2) 質の高い芸術文化の発信

■現状と課題

本市では、ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱のひとつとして、ガラスに携わる人材の育成、産業化の推進、芸術の振興という3つの観点からさまざまな取り組みを行っており、平成27年8月には、ガラス美術館が開館するなど、新しい産業・芸術文化として市民等に浸透してきているところです。

今後は、ガラス造形研究所・ガラス工房などが集積する「グラス・アート・ヒルズ富山」とガラス美術館が一体となって、国内外にその魅力をさらに発信することが求められます。

また、次代を担うガラス作家の定住・定着を図るため、活動基盤の充実・強化が必要です。

さらに、ガラスを産業観光の素材とすることや、中心市街地でのガラス関連のイベントなどにより賑わいを創出することも求められます。

一方、江戸時代から続く「富山の売薬」の薬袋や売薬版画の製作から発展した本市のデザインは、全国的にも優れ、高いレベルにあります。より市民や企業の関心を高める必要があります。

このことから、富山デザインフェアの開催などを通して、商業デザインの振興等に努めており、今後も、若手デザイナーの育成や活動支援が求められます。

富山ガラス造形研究所卒業生進路一覧

(人)

進 路 先		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
進 学	研究科	3	2	2	3	4
	留学	1	0	0	0	0
就 職	富山ガラス工房	0	1	0	2	1
	ガラス関係会社	1	1	0	5	3
	公立工房	2	1	0	0	0
	個人工房(独立含む)	2	8	3	2	3
	教育関係	0	0	0	0	1
研修 ※1		2	0	6	3	4
その他 ※2		9	6	8	5	5
合計		20	19	19	20	21

※1…工房で研修者として制作する者や、アシスタントをしながら見習修行を行う者など

※2…工房等でアルバイトをしながらガラス作家活動をしている者など

富山ガラス工房の利用状況

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入館者数	67,462	100,961	101,861	104,424	108,397
1日平均	188	283	285	293	303
吹きガラス等体験者数	8,455	9,042	11,533	12,219	13,118

■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
TOYAMA キラリ公益施設の来館者数 (再掲 I-1-(4))	TOYAMA キラリ公益施設の利用者数	基準数値は、平成 28 年 6 月の実績による推計値とし、毎年 2 万人の増加を目指す。	550,000 人 (28 年度見込)	650,000 人
富山ガラス工房入館者数	富山ガラス工房の入館者数	体験メニューの充実、ガラス美術館との連携等により、27 年度から 1% 程度の増加を目指す。	108,300 人 (27 年度)	110,000 人
(公社) 日本グラフィックデザイナー協会主催の審査会での入賞者数	(公社) 日本グラフィックデザイナー協会主催の作品選考会における入選者数	全国レベルのデザイナーを輩出し毎年 1 人ずつ入選者の増加を目指す。	2 人 (28 年度)	7 人

■施策の方向

①「ガラスの街とやま」の推進

ガラス美術館では、国内外の現代ガラス作品等の調査研究、良質な作品・資料の収集保存、市民がガラス芸術を身近に感じ誇りに思える企画展示などに取り組みます。

また、積極的な情報提供とともに、ガラス作家や作品を通じ、ガラス芸術に出会い、対話する機会を提供し、さらに教育普及活動を行うことで、美的感覚や知的好奇心を育むなど、開かれた美術館運営を展開します。

さらに、各種機関、施設と連携して国際的な公募展を開催するなど、「ガラスの街とやま」の認知度の向上に努めるとともに、建築や構造物とガラスの融合など、ガラス工芸の新しい表現領域の開発、ガラス作家の育成機能の強化などに取り組み、産業化の推進や作家の定着支援に努めます。

②デザインの普及とデザイン活動への支援

国内トップクラスの作品から、学生の作品まで幅広いジャンルの作品を展示する富山デザインフェアを通じて、市民や企業の方々にデザインへの関心・理解を深めていただくとともにデザイン産業の振興を図ります。

また、デザインサロン富山を通して、デザイナーや学生の活動を支援します。

さらに、本市が主催するイベントなどのポスターを、著名デザイナー等による選定委員会で選定することで、デザイン性の高いポスターにより効果的な PR に努めます。

■市民に期待する役割

*ガラス美術館が実施する展覧会や普及事業へ積極的に参加する。

*デザインフェアなどに来場し、デザインへの理解を深める。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(28～33 年度)
ガラスの街づくり事業	ガラス美術館整備、新ガラス工房建設	ガラス美術館運営（作品収集保存、調査研究、展覧会開催、教育普及、国際公募展開催等）、富山ガラス工場の運営
富山デザインフェア開催事業	富山デザインフェアの開催（毎年）	事業の継続実施

基本目標	Ⅲ人が集い活気にあふれ希望に満ちたまち【活力・交流】
政 策	4.歴史・文化・芸術のまちづくり
施 策	(3) 市民の芸術文化活動への支援

■現状と課題

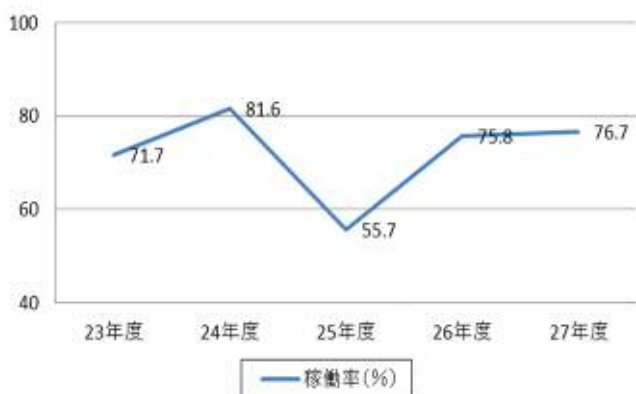
社会の成熟化に伴い、人々の考え方が、物の豊かさを重視する考えから、精神的な満足感や心の豊かさを重視する方向へ変化しています。

このような中、文化芸術活動の持つ創造性が、福祉、教育、地域経済等も含めたまちづくり全般に波及し、市民がいきいきと暮らし、まちが将来にわたって活性化することを目指して策定した「富山市文化創造都市ビジョン」に掲げる理念を尊重した行政運営に取り組んでいます。

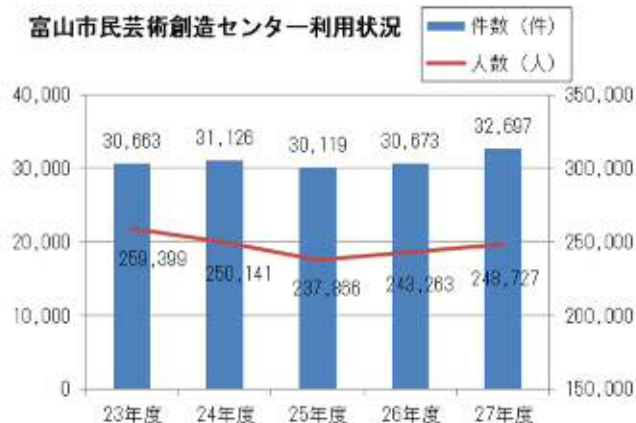
とりわけ芸術文化の面では、優れた作品の鑑賞機会の提供や、市民の芸術文化活動の場となる、施設整備や発表の場の提供などが求められています。

また、次代を拓く心豊かな「ひと」を育むため、子どもたちが芸術文化に触れる機会を提供することなどにより、芸術文化を支える人材の育成が重要となっています。

富山市芸術文化ホール年間稼働率 (%)



富山市民芸術創造センター利用状況



■目標とする指標

指標名	指標の説明	目標設定の考え方	基準数値	目標数値
主催公演の入場者率	富山市民文化事業団が主催する公演の入場可能座席数に占める入場者の割合	多様で質の高い芸術文化公演を提供し、70%台を維持する。	70% (28年度目標数値)	70%台の維持

■施策の方向

①優れた芸術文化に親しむ機会の充実

文化創造都市ビジョンに基づき、文化とまちづくりが融合した文化創造都市を目指します。

また、市民に専門性の高い公演等や質の高い文化事業を提供するとともに、参加・交流ができる事業にも取り組むなど、優れた芸術文化に親しむ機会の充実に努めます。

②市民の芸術文化活動拠点の充実

市民が気軽に芸術文化に親しむ場を提供するため、市民芸術創造センターを創作活動の拠点として充実させるとともに、外部の有識者の意見などを踏まえ、芸術文化ホールの活性化及び新たに中ホールの整備について、引き続き検討します。

また、中心市街地で開催している富山市美術展や市民ホールミニコンサート、芸術創造センターでのパフォーミングアーツなどを通じて、市民の創作活動の発表および鑑賞の場を提供するとともに、まちの賑わいの創出に努めます。

③市民の芸術文化活動への支援と人材の育成

芸術文化団体が開催する文化事業に対して支援を行うことにより、芸術文化を支える人材の育成に努めます。

また、子どもたちが芸術と触れ合える機会を提供する活動の支援や、プロの演奏家から直接指導を受ける機会を提供することにより、次代の芸術文化を担う人材の育成に努めます。

■市民に期待する役割

- * 音楽や演劇、美術などを鑑賞し、芸術文化に親しむとともに、伝統的な行事や創作活動に関する講座などに参加し、感性を磨き、想像力を養う。
- * 芸術文化の発表の場でそれぞれの成果を披露するなど、芸術文化活動を通じて、人との交流の輪を広げる。

■総合計画事業概要

事業名	平成 28 年度末現況	事業の概要(29～33 年度)
市民文化振興事業	(公財) 富山市民文化事業団へ委託	事業の継続実施
富山市美術展の開催	富山市美術展の開催	30 年度より、富山市美術展に旧神通峡美術展で開催されていたインスタレーション部門(3 年毎)を追加して開催